



木下 敬夫 議員  
(無会派)



一般質問

■戦略的復興プランについて

市民のためにしっかりとプランの実現を！

**質** 公費解体が少しずつ進み、更地になっている土地が至るところで目立ってきている。そうした中、自宅の建替えをする場合、

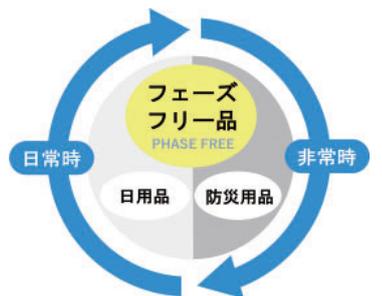
昨今の建築費高騰により、再建のためのハードルが非常に高くなっている。戦略的復興プランの重点プロジェクトの中には、被災者一人ひとりに寄り添った生活再建プロジェクトが記されている。そこで、七尾市独自の住宅支援策の考えがあるか伺う。また、地区が考える復興プランをどのような形で取り組み、実現していくのか伺う。

**答** 支援策については、速やかな復興を目的に仮設住宅の供与期間終了後の再利用や、住宅に被害を受けた世帯の生活再建のため、

住宅取得奨励金の支給について検討をしていきたい。  
御祓地区と和倉地区については地区独自の復興プランを今年度内の策定に向けて取り組んでいるところである。この2地区の策定会議は市もオブザーバーとして参加しており、地区の思いも承知をしている。七尾市戦略的復興プランは、地区復興プランの内容を取り入れることとしており、事業実現に向けて進めていきたいと考えている。



瀬戸 三代 議員  
(無会派)



一般質問

■備えない防災フェーズフリーについて

フェーズフリーアイデアコンテストで防災意識の向上を！

**質** 『安全安心のまちづくりのために、明るく楽しく日常生活の中に防災意識を浸透させることが重要である。』市民の方に、フェーズフリー防災の考え方を周知し、常に防災意識を持って、生命または

財産を守るような形にするため、フェーズフリーアイデアコンテストを開催し、防災意識を高めてはどうか。

**答** フェーズフリーとは日常時と非常時という2つのフェーズを分

けずに、日常生活の中で、これは災害時にも役立つのではという視点を取り入れ、備えるという特別な意識を持たずに災害に備えることができるものかと考える。公園のベンチが災害時にはトイレとして使用できる、各家庭で防災食を備蓄し、期限の短くなったものを消費していくローリングストックやプラグインハイブリッドカーにおける家庭への電源供給などが例として挙げられる。こうしたフェーズフリーの考え方は、まず、その意識、知識を市民の方に広めていくことが肝要である。御提案のフェーズフリーアイデアコンテストについては、そういった周知を図っていくことを優先し、一つのアイデアとして承りたい。